



水害当日の居宅介護支援事業所としての動きと 秋田県中央地区介護支援専門員協会のLINEワークスを 活用した情報共有について

秋田県中央地区介護支援専門員協会

湊 聖子（ケアプラン支援センターふきのとう）

自己紹介

企業組合秋田福祉サービス（ふきのとう）

（広面事業所）

短期入所生活介護、地域密着型通所介護、認知症
対応型通所介護、居宅介護支援事業、学童保育

（金足事業所）

サービス付き高齢者住宅、地域密着型通所介護、
定期巡回・随時対応型訪問介護、学童保育





水害当日 居宅介護支援事業所としての動き



当日、居宅事業所は休日。会社からは待機指示あり。
電話にて担当ご利用者（35名）安否や状況確認を実施。翌日、
広面・柳田・東通のご利用者を中心に訪問し再確認を行った。

（床上浸水の被害があったご利用者への対応）

広面地区在住、要介護1 独居女性

7/15当日 昼に1度目の電話での安否確認。「道路に水来ているけど大丈夫」

16時に再度確認すると「玄関に水入ってきた」⇒床上浸水する可能性あり。

2階に寝室があり、ご本人に食べものや飲みもの、薬、貴重品、履物など持って2階へ
垂直避難するよう話をすると同時に別居家族へ状況を報告。

家族から消防へ状況を相談。消防からも垂直避難指示あり家族からも数回本人に連絡
している。

翌朝に水が引き、ケアマネがご自宅訪問。

床上5cm程度浸水したとのことだったが、電化製品には影響がなく自宅内外の片付け
の手伝い。途中でご家族も合流。片付けや乾燥なども含め1週間程度かかったが、住
めない状況ではなく避難までは至らなかった。

自宅が借家だったため、修繕等についてはご家族と大家とで事後処理を行っている。

(被害状況)

- ・ 床上浸水（ご利用者宅 1件 ご利用者家族 2件）
- ・ 床下浸水（ご利用者宅 2件 ご利用者家族 1件）

ほか、自家用車が浸水被害にあった方も2件あった。

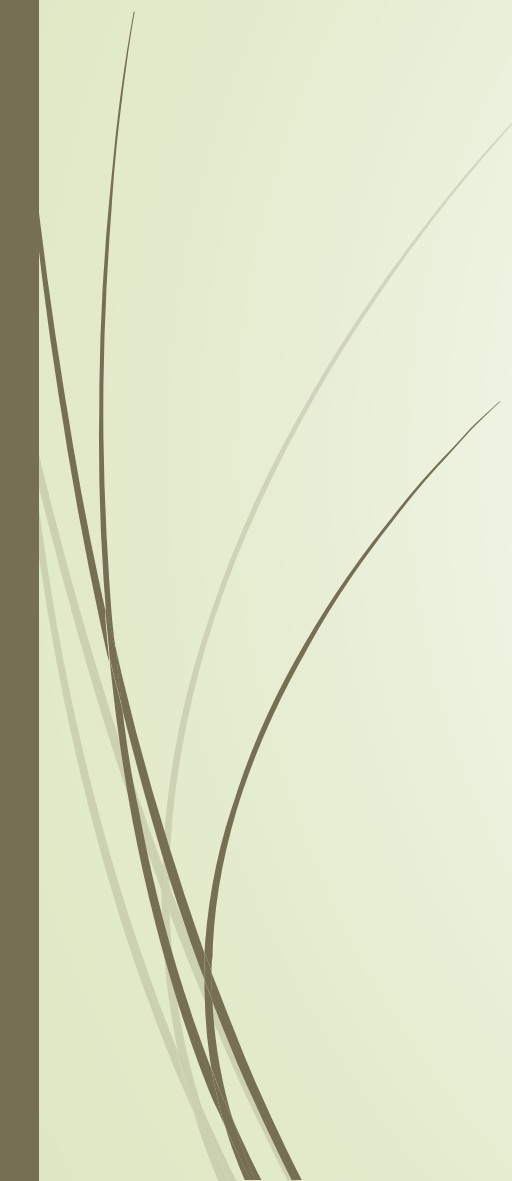
- ・ 週末で幸い普段独居でもご家族が様子を見に来ているケースが見られた。「家族が来てくれたから、安心できた」と話すご利用者もいた。
- ・ ご家族が被災したことで連絡が取りづらくなり、ご利用者の相談等が一時的に進まなくなることがあった。
- ・ 水害による緊急受け入れなどの影響もあり、その後の猛暑時にショートステイ等の空きが少なく、サービス確保が難しくなることがあった。
- ・ 「もし、自分たちがすぐに来られない場合に同じことがあったら、誰がどのように対応してくれるかわからないので、教えてほしい」と後日訪問したご家族よりご相談があり、今後災害時に備えた話し合いや準備をしていくことが必要と感じた。

当法人事業所への影響について (広面事業所・短期入所、デイサービス)

- 7/15当日はショートステイ、デイサービス、認知症対応型デイサービスが稼働。
- 事業所裏手の堰があふれ、前の道路が内水氾濫も含め腿の高さ（65～70cm）の高さまで冠水。
一時は床上浸水まで5cm位のところまで水位が上がった。
- デイサービスは通常より早く送迎や家族の迎えで対応。
床上浸水地区など帰宅困難になったご利用者3名をショートステイで急遽受け入れを行った。





- 
- 
- 当日は翌朝水が引くまで複数回会社のグループLINEで情報共有や判断の相談などを行った。
 - 職員駐車場、納屋も浸水し車両を手形山に避難。社用車1台が室内まで水が入り、安全が確認できるまで数日動かすことが出来なかった。
 - 浸水のため、ショートステイの夜勤者が出勤することが出来ず当日の早番が残って翌朝まで対応。職員も事業所全体で5名自宅の床上浸水や自家用車の水没など被害があり、各所協力をしながら通常業務を行った。
 - 7/15の他7/19、9/19にも大雨で一時的に事業所前の道路が冠水する事態が起きたが、7/15を教訓に行動を行っている。現在担当者を中心にBCPを作成中。



秋田県中央地区介護支援専門員協会の LINEワークスを活用した情報共有について

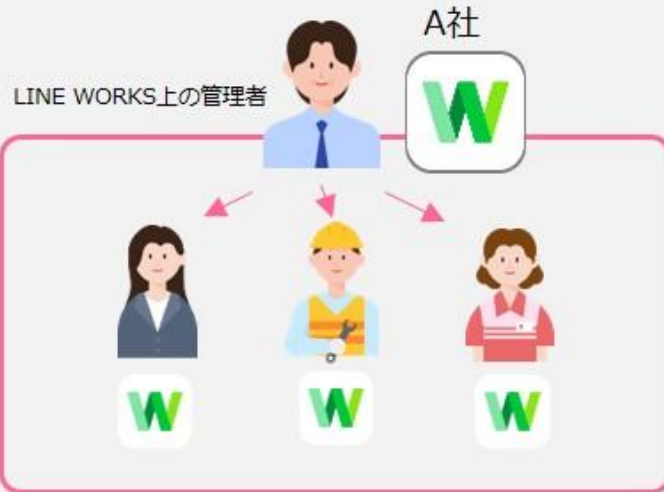
秋田県中央地区介護支援専門員協会のSNS活用

- ホームページ（県協会）のほかFacebook、Instagramを開設している。
- 令和4年5月からLINEワークスの運用開始。
通常は協会の研修案内などを中心に情報発信・共有の場として使用している。
- 中央地区（男鹿・潟上/由利本荘・にかほ/秋田市）
会員278名（R5.10月末現在）
- LINEワークスには会員96名（R5.10月末現在）登録

LINEワークスとは

- ▶ 同じ会社や団体、プロジェクトチーム等の中で仲間と一緒に使うサービスです。会社内ではもちろん、様々な現場や外出先等どこにいても効率的で安全なコミュニケーションが行えます。

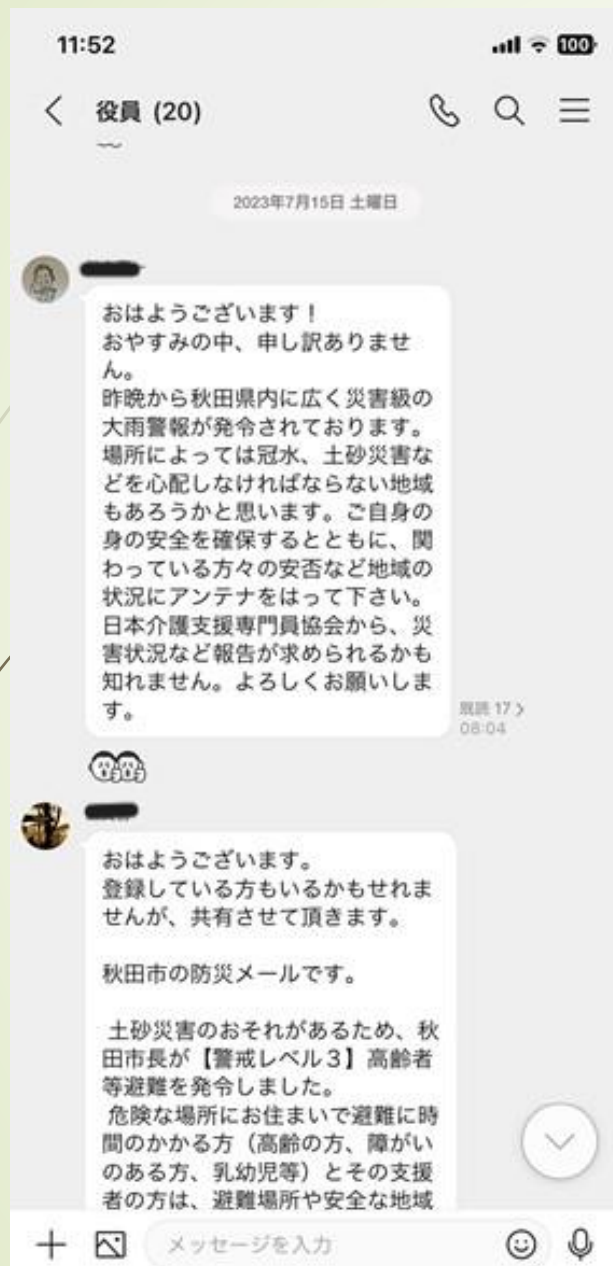
LINE WORKSは
管理者がメンバーを招待or登録することで始まる



- ▶ LINE WORKSは、まず管理者となる人が**その組織用のアカウント**（「〇〇社」「〇〇チーム」「NPO団体〇〇」など）を作り、**そこにメンバーを追加／招待**することで、各機能を使ったコミュニケーションがスタート。
- ▶ LINE WORKSはLINEのビジネス版。プライベートなSNSとは分けながらも、年齢や個人のITリテラシー問わず、どんなメンバーとも簡単にコミュニケーションができる。
- ▶ 「**既読・未読が誰か**」までわかるから、コミュニケーションが効率的

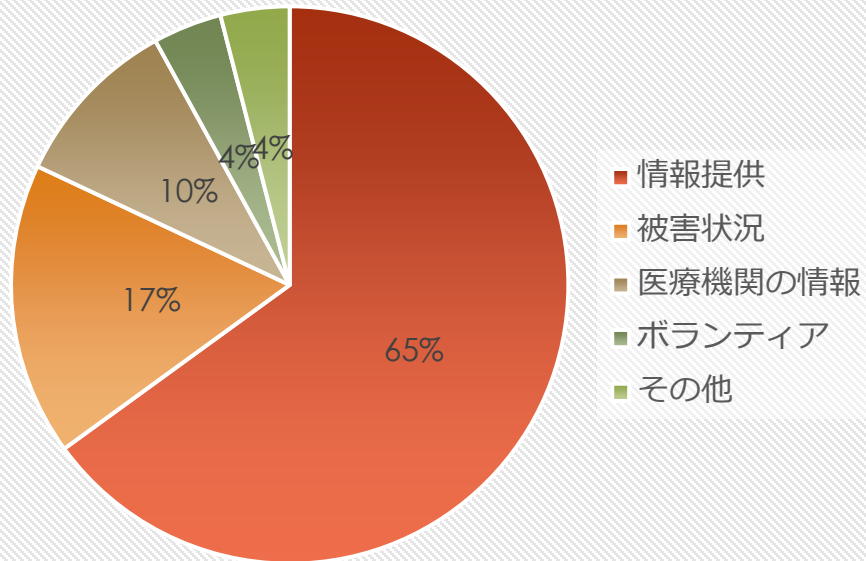
7/15当日からのLINEワークスを活用した情報共有

- 当日は中央地区会長からの呼びかけ・注意喚起から、会員からの被害状況や情報共有等が続く
- 当日は被害状況の報告や行政からの情報、緊急受け入れが出来る施設の情報や相談などが中心
- 秋田市外のケアマネージャーが市内の施設に問合せをして情報を上げて下さった他、男鹿潟上地域からの被害状況や被災者支援の情報も
- 2, 3日後からはボランティア募集や支援物資の供給についての情報が上がるように
- 7/15～8/22までの間に100件近くの投稿があった。

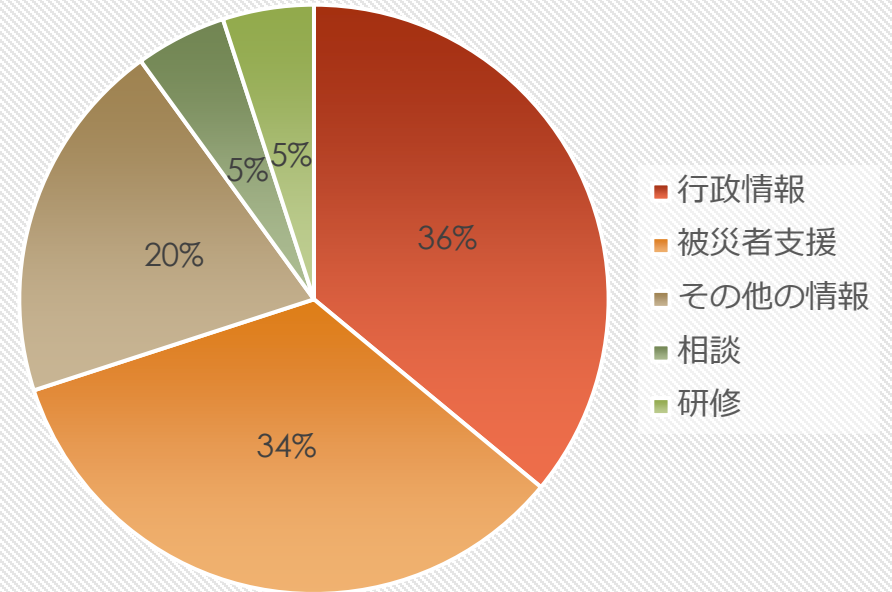


LINEワークス・会員グループ内で水害に関する情報共有内容の内訳（7/15～8/22）

水害に関する投稿内容



情報提供の内容



具体的な内容

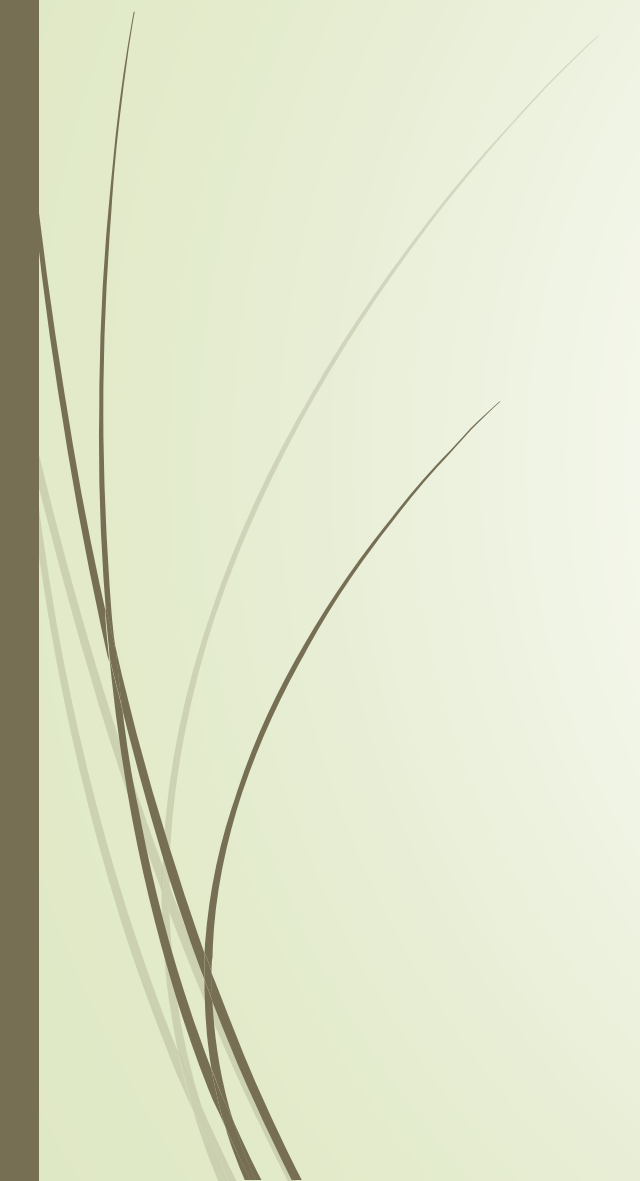
- 介護サービス：被災したサービス事業所の連絡先の変更のお知らせや復旧についての情報
- 医療機関：救急病院を中心に診療状況、受診対応が可能かの情報、服薬の相談など
- 被災者支援：浸水後の片付けについて、被災された方への入浴施設の無料開放の情報、被災者救済支援制度、ボランティアのお願い、救援物資の支給など
- 交通情報：土砂崩れ、通行止めや解除の情報
- 行政情報：県、市のHPなどからの情報の提供

その後の役員会で振り返りを実施

- 情報発信のツールとしての役割がある程度できた
- 災害専用のグループを作った方がより伝わりやすいのでは
- 会員だけではなく、今後は地域包括や各連絡協議会、医療機関等と外部連携でつながっていくことが出来れば良い
- 行政との連携（保険者の違いもあるので難しいと思うが、働き掛けや流れを作れるように）
- LINEワークスの案内の出し方、今後どのように会員の登録を促していくか（どうすればはいいりやすい環境？）
- 今後LINEワークスが有料になった場合の対応
- 中央地区協会のBCP（災害・感染症）作成の必要性 など



秋田県中央地区介護支援専門員協会では今後もLINEワークスをはじめ、Facebook、Instagram、ホームページ等を活用して介護支援専門員の皆様や関係機関等と積極的に情報共有や交流を行っていきます。



ご清聴頂き、ありがとうございました。